

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英語と英会話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	小松 真奈美 岡島 加代子	実務経験と その関連資格	大阪市立大学医学部付属病院にて看護師、りんくう総合医療センターにて医療通訳 語学学校講師、英語検定試験 1級/TOEIC 975点			
《授業科目における学習内容》						
基礎的な英語力・英会話能力を身につけ、外国人患者さんに対応できる医療現場で使われる病院会話ができるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験、授業態度(ペアワーク、発表など)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医療英語コミュニケーション(国際教育社)						
《授業外における学習方法》						
英語が苦手な学生は、単語などを調べるなど予習をしておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中の居眠り、私語、スマホの使用(単語を調べる時間以外)は禁止。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介、聞き取れなかった時の対応が出来る。	配布プリント	特になし	
		各コマに おける 授業予定	自己紹介・聞き取れなかった時の表現、医療通訳とは			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初診患者さんへの対応が出来る。	教科書	特になし	
		各コマに おける 授業予定	Chapter3 症状(痛み)			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	痛みの部位、種類などが英語で表現できる。	教科書	特になし	
		各コマに おける 授業予定	Chapter4 症状(その他)			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	痛み以外の症状(吐き気、咳、鼻水など)が表現できる。	教科書	特になし	
		各コマに おける 授業予定	Chapter5 病気の名前			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	ロールプレイ原稿を英語で考え作成する	教科書	特になし	
		各コマに おける 授業予定	ロールプレイ準備			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	英語で医療場面のロールプレイが出来る	教科書	特になし
		各コマに おける 授業予定	ロールプレイ		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標		プリント	特になし
		各コマに おける 授業予定	まとめ・試験対策・臓器の名称		
第8回		授業を通じての 到達目標	中学3年間で学習すべき基礎英語がどれ程身についているかを 各自チェックして実力を知る		
		各コマに おける 授業予定	授業の概要説明・ウォーミングアップとして基礎英語の確認		
第9回		授業を通じての 到達目標	診察時に必要な表現の習得	テキスト	・個人発表の準備 ・基礎英語(主に動詞) の復習
		各コマに おける 授業予定	3～4名のプレゼンテーション(1人ずつ) chapter7内科(1)		
第10回		授業を通じての 到達目標	読解・会話に必要な文法の見直し	テキスト	・個人発表の準備 ・P.43 P.44の復習と確認
		各コマに おける 授業予定	プレゼンテーション(3～4名) chapter8内科(2)		
第11回		授業を通じての 到達目標	基礎文法で何が理解できていないかを具体的に知る	テキスト	・個人発表の準備 ・読解力の見直し
		各コマに おける 授業予定	プレゼンテーション(3～4名) chapter9外科		
第12回		授業を通じての 到達目標	学校英語と実用英語の相違を知る	テキスト	・個人発表の準備 ・文法と語順の復習
		各コマに おける 授業予定	プレゼンテーション(3～4名) chapter10検査と処置		
第13回		授業を通じての 到達目標	知識としての英語を実用化する	テキスト	・個人発表の準備 ・実務で必要とされる知 識の確認
		各コマに おける 授業予定	プレゼンテーション(3～4名) chapter11救急患者		
第14回		授業を通じての 到達目標	これまで学習した内容の再確認	テキスト	・個人発表の準備 ・これまでの復習
		各コマに おける 授業予定	プレゼンテーション(3～4名) 総復習		
第15回		授業を通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定	試験		